

★ 歯科健診・歯周病検診 リーフレットのご紹介 ★

対象者向けリーフレット

歯科健診の対象者に対して、歯科健診の案内と一緒に、または、再勧奨の際にご活用いただくリーフレットです。  
「歯科健診はお得です」というメッセージを伝え、歯科健診の受診を後押しする内容となっています。

保健指導用リーフレット

歯科健診の受診者に対して、歯科医師が健診結果の説明と保健指導を行うときに使用するリーフレットです。  
受診者が実感しにくい歯周病の健診結果をイラストや写真で示し、“自分事”として認識してもらうための内容となっています。

リーフレットはこちらから▶



歯科健診をお考えの事業所・健保組合の方は、**愛知県歯科医師会**までご連絡ください

〈お問い合わせ先〉

一般社団法人  
愛知県歯科医師会  
AICHI DENTAL ASSOCIATION **ADA**

健診促進グループ  
〒460-0002 名古屋市中区丸の内三丁目5番18号  
TEL (052) 962-8020(代) FAX (052) 951-5108  
URL <https://www.aichi8020.net>



事業所 健保組合 担当者の皆様へ

# 歯科健診のススメ



医療費の適正化

歯科健診

未来への投資へ

労働生産性の向上

健康寿命の延伸

# 定期的な歯科健診は、受診者だけでなく 事業所・保健組合にもメリットがあります。



- 医療費の適正化
- 健康寿命の延伸
- 労働生産性の向上

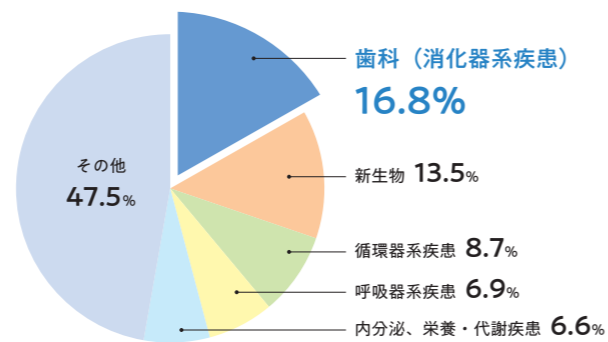
## 医療費の適正化

歯科治療の大半は未だ「むし歯」「歯周病」です。これらの治療は、自然に回復することではなく、放置し重症化すると治療内容は複雑で苦痛も伴い、通院日数や費用負担も増えます。また、右のグラフが示すとおり、健保組合加入者の医療費全体で「歯科」が占める割合が最も大きいという現状にあります。

そこで、医療費の適正化に向けて、「歯科疾患の予防」に転換してみませんか？ その一歩として「歯科健診」を導入されることをお勧めします。健診後は、保険診療による早期治療と予防を重視した保健指導、定期管理のフォローアップを行います。歯科医師の立場からも、プロフェッショナルケアで日々診療していくこと、そして何より受診者の歯とお口が健康、爽快で、元気に働いてもらえることを望んでいます。

なお、歯科健診を新たに導入した場合、一時的に歯科医療費が上昇する可能性があります。医療費の適正化は、長期的・俯瞰的な視点でとらえていただく必要があります。

歯科疾患は有病率が高く、  
医療費に占める割合も大きい



出典：令和2年度健康保険組合連合会統計データ（健診・医療費統計）

疾病分類医療費計（医科・歯科（計：2兆7,587億円））のうち、**歯科**は疾病分類中最も高く、**4,648億円**と医療費全体の**16.8%**。

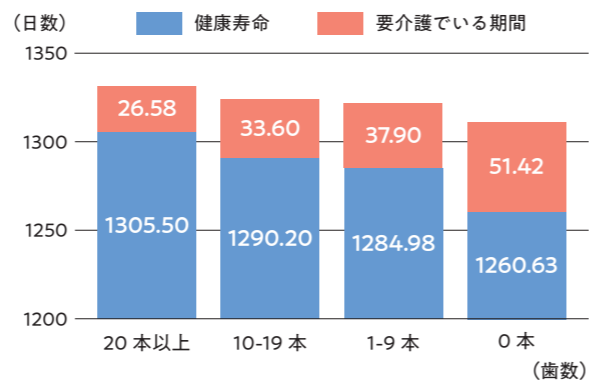
## 健康寿命の延伸

機械は動いていても不調が現れると「寿命を迎えた」と言われます。人間ではそれを「健康寿命」と呼び、要介護でいる期間を含めた「平均寿命」との差の縮小が、超高齢社会の喫緊の課題とされています。

「歯の本数」と「健康寿命」の関連を右のグラフに示します。多くの歯を持っている人ほど健康寿命の期間が長い、つまり、歯の喪失を防ぐことが健康寿命の延伸に寄与することがわかります。

歯の喪失を招く「むし歯」「歯周病」。特に30歳代位からじわじわと始まる「歯周病」は、早期発見と正しい口腔ケア、定期管理されていけば大きな不調を起こすことは少なく、食事を一生美味しく楽しめます。若い世代からの「歯科疾患の予防」の積み重ねが、将来の健康寿命の延伸につながります。

自分の歯が多く保たれている高齢者は  
健康寿命長く、要介護日数短い



65歳以上 3年間の追跡日数による（男・女合算）  
出典：2017年6月東北大学大学院歯学研究所発表

## 労働生産性の向上

機械や設備、土地面積などの資本生産性と違い、労働生産性は「一人当たり」「労働1時間あたり」という人の能力で表されます。全要素生産性の中でも労働生産性は最も重要です。

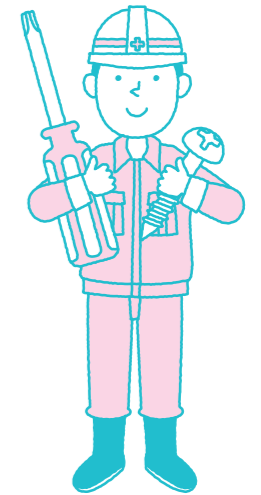
機械や設備のメンテナンスは重要ですが、その不調はスペア交換や修理、新調でほぼ同じパフォーマンスが再現できます。しかし人の「健康管理」はそれ以上に重要で、不調や欠勤は生産性を減じるだけでなく、他の労働力への負担になり負の連鎖を起こします。

欠勤は明らかな理由により対処や対策を思考できますが、プレゼンティーズム（出勤しているが、健康上の問題で十分な業務ができない状態）を気づくには深い洞察力が求められ、不明確な業績悪化を招きます。

特に「歯とお口」の不調はその代表とも言えます。「歯が痛い」、「顎が痛い」「口の中が気になる」等は元より、それにまつわる食欲不振ではパフォーマンスの低下や、ヒューマンエラーの原因にもなりかねません。

従業員が心身共に健康な状態で業務に専念できれば、事業安定、組織活性化が保たれ、生産性の向上という好サイクルが考えられます。

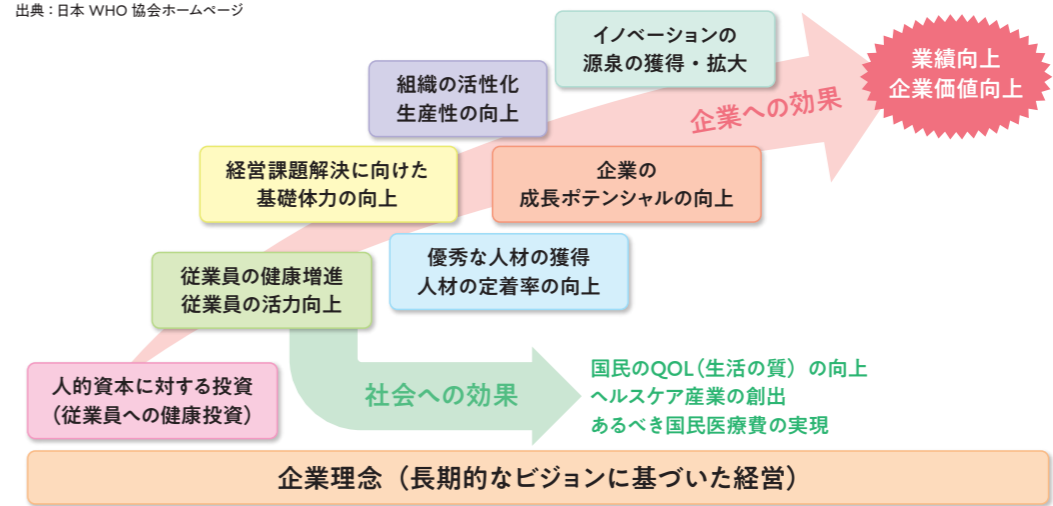
経営成長はそこで働く人とその家族のためでもありますので、健康の担保は必須です。



## 健康経営・健康投資とは

- 健康経営とは、従業員等の健康保持・増進の取組が、将来的に収益性等を高める投資であるとの考えの下、**健康管理を経営的視点から考え、戦略的に実践すること**。
- 健康投資とは、**健康経営の考え方**に基づいた具体的な取組。
- 企業が経営理念に基づき、従業員の健康保持・増進に取り組むことは、従業員の活力向上や生産性の向上等の組織の活性化をもたらす、結果的に**業績向上や組織としての価値向上へ繋がる**ことが期待される。

※「健康」とはWHOの定義に基づく、「病気でないとか、弱っていない」ということではなく、肉体的にも、精神的にも、そして社会的にも、すべてが満たされた状態にあること」をいう。  
出典：日本WHO協会ホームページ



「健康経営®」はNPO法人健康経営研究会の登録商標です。

## あいち健康経営ネット

「愛知県健康経営推進企業」に登録された企業等の取組紹介のほか、セミナーなどの関連情報を発信しています。模範となる優れた取組を実践する企業等を表彰する「あいち健康経営アワード」制度もあります。

<https://www.kenko-keiei.pref.aichi.jp/>

